

昭和文学研究

第87集

特集 身体を再考する——規範化し、攪乱する文学

左川ちか研究——攪乱される詩的生態系……………	川崎 賢子 (2)
「孕む身体」の闘争 ——松田解子『女性線』と無産者産児制限同盟……………	中谷いづみ (17)
物質が語る死体をめぐる構造 ——バタイユのアンフォルムで読む安部公房と久生十蘭……………	李 先胤 (33)
家畜の生と人間の身体 ——土路草「潰滅の前夜」「魔教園No.8」論……………	河原 梓水 (44)
三島由紀夫「三熊野詣」論 ——〈独身〉者・折口信夫像を書き換える力……………	有元 伸子 (59)
戦後文学における〈老いる身体〉との対峙と逃避 ——有吉佐和子『恍惚の人』と大西巨人『迷宮』から……………	橋本あゆみ (74)
観客の身体の拘束・挑発——寺山修司「観客席」論……………	久保 陽子 (89)
「別空間」への想像力——崎山多美「アコウクロウ幻視行」論……………	佐久本佳奈 (104)
否定性の共同体のために ——『薬を食う女たち』、「ドラッグ・フェミニズム」、 そして、五所純子の書く行為について……………	水川 敬章 (120)
自由論文 林美英子「兵隊の詩」をめぐって ——帯紙・バラテクト・メディア……………	野田 敦子 (135)
石川淳「白描」論 ——日中戦争下の民芸運動・青年・芸術をめぐって……………	別當 奏 (151)
太宰治「ヴィヨンの妻」論 ——「仮名手本忠臣蔵」への接近と離脱……………	齋藤 樹里 (167)

研究動向

獅子文六(岩田豊雄)……………	佐藤貴之 (182)	岡本かの子……………	野田直恵 (186)
宮本百合子……………	池田啓悟 (190)	中野重治……………	廣福陽一 (194)
留学と文学……………	謝 惠貞 (198)		

研究展望

「上海文学復刻版」と戦時中国の日本語文学 好きなところで、くつろいで研究してください ——国文学研究資料館の文学手稿デジタル化事業について……………	木田 隆文 (202)
『坂口安吾大事典』以後の安吾研究……………	多田 蔵人 (205)
映画と文学の横断——アダプテーションとしての『劇場版ごん』……………	山路 敦史 (208)
近現代文学研究の将来に向けて——「宮沢賢治と卒論・修論書いてみる?」の試み……………	友田 義行 (211)
〔書評〕 胡逸傑著『芥川文学における帝国主義批判の再検討 その思想の展開と特徴をめぐって』……………	小谷 瑛輔 (219)
佐藤未夫子著『谷崎潤一郎と映画の存在論』……………	五味典典 (223)
大原祐治著『戯作者の命脈 坂口安吾の文学精神』……………	原 卓史 (226)
和田敦彦編『職業作家の生活と出版環境 日記資料から研究方法を拓く』……………	高橋 孝次 (230)
柳井宏夫著『性格破産者の系譜 広津和郎論』……………	中山 弘明 (234)
藤田佑著『小説の戦後 三島由紀夫論』……………	久保田裕子 (237)
外村彰著『星亨文学 女ひとの形象』……………	須田 久美 (240)
渡邊英理著『中上健次論』……………	早川 芳枝 (244)
鈴木貴字著『〈サラリーマン〉の文化史 あるいは「家族」と「安定」の近現代史』……………	松下 浩亮 (247)
高橋幸平・久保昭博・日高佳紀編『小説のフィクションリティ 理論で読み直す日本の文学』……………	山本 亮介 (251)
岡村民夫・赤坂憲雄編『イーハトーブ風景学 宮沢賢治の〈場所〉』……………	中村 晋吾 (254)
深澤晴美著『川端康成 新資料による探究』……………	堀内 京 (258)
岩川ありさ著『物語とトラウマ クリア・フェミニズム批評の可能性』……………	藤本 直実 (261)
飯田祐子・中谷いづみ・笹尾佳代編著 『プロレタリア文学とジェンダー 階級・ナラティブ・インターセクショナルリティ』……………	榊原 理智 (264)
石川巧著『読む戯曲の読み方 久保田万太郎の台詞・ト書き・間』……………	赤井 紀美 (267)
武内佳代著『クリアする現代日本文学 ケア・動物・語り』……………	金井 康子 (270)
栗山雄佑著『〈怒り〉の文学化 近現代日本文学から〈神繩〉を考える』……………	尾西 康充 (274)
〔新刊紹介〕 西田谷洋著『文学教育の思想』……………	榊原 理智 (277)
新・フェミニズム批評の会編『(パンデミック)とフェミニズム 新・フェミニズム批評の会 創立30周年記念論集』……………	
仁平政人・原 善編著『〈転生〉する川端康成 I 引用・オマージュの譜相』……………	
有元伸子・府中市上下歴史文化資料館編『関田(水代)美知代著作集』……………	
田村景子著『希望の怪物 現代サブカルと「生きづらさ」のイメージ』……………	
千葉一幹著『失格でもいいじゃないの 太宰治の罪と愛』……………	
青木(秋枝)美保・前田貞昭編著『井伏鱒二未公開書簡集 ある級友への手紙』……………	
受贈図書 会務委員会だより……………	(282)
「昭和文学研究」バックナンバー電子公開のご報告……………	(290)
日本学術会議の問題をめぐる昭和文学会の対応について……………	(292)
編集後記……………	(293)

昭和文学研究

第87集

特集

身体を再考する

規範化し、攪乱する文学

令和五(二〇二三)年九月



9784305003874



1923393042008

ISBN978-4-305-00387-4

C3393 ¥4200E

定価:本体4,200円(税別)

Showa Bungaku Kenkyu No. 87 (Showa Literary Studies)

FEATURE ARTICLES: Rethinking the Body: Literature of Normitization and Disruption

1. The Deconstruction of Biopolitics in the Poetry of Sagawa Chika
…………… KAWASAKI Kenko
2. The Struggle of the Pregnant Body: Matsuda Tokiko's *Josei-sen* and The Proletarian Birth Control League (*Puro BC*)
…………… NAKAYA Izumi
3. Materialism and the System Behind Dead Bodies: Reading Abe Kobo and Hisao Juran Through Georges Bataille's Concept of Formlessness
…………… LEE Sunyoon
4. The Life of Livestock and The Body of the Human: Tsuchiro Soichi's "*Kaimetsu no zenya*" and "*Makyoken No. 8*"
…………… KAWAHARA Azumi
5. Mishima Yukio's "*Mikumano mode*": Modifying the Image of a "Single"
Orikuchi Shinobu and Women as Witness
…………… ARIMOTO Nobuko
6. Confronting and Escaping "The Aging Body" in Postwar Japanese Literature:
Ariyoshi Sawako's Kokotsu no hito and *Onishi Kyojin's Meikyu*
…………… HASHIMOTO Ayumi
7. Restraining and Inciting the Audience's Body: Terayama Shuji's "*Kankyakuseki ron*"
…………… KUBO Yoko
8. Imagining Other Spaces: Sakiyama Tami's "*Akokuro genshiko*"
…………… SAKUMOTO Kana
9. Towards an Uncertain Community: On *Kusuri o kuu onnatachi*,
"Drug Feminism," and Goshō Junko's Acts of Writing
…………… MIZUKAWA Hirofumi

ARTICLES

1. On Hayashi Fumiko's "*Heitai no shi*": Dustcover Obi, Paratext, Media
…………… NODA Atsuko
2. Ishikawa Jun's *Hakubyo*: On the Folk-arts Movement, Youth, and Art during the Sino-Japanese War
…………… BETTO Kanade
3. Dazai Osamu's "*Viyon no tsuma*": Approaching and Breaking from "*Kanadehon chushingura*"
…………… SAITO Juri

RESEARCH TRENDS

1. Shishi Bunroku
…………… SATO Takayuki
2. Okamoto Kanoko
…………… NODA Naoe
3. Miyamoto Yuriko
…………… IKEDA Keigo
4. Nakano Shigeharu
…………… HIROSE Yoichi
5. Study Abroad and Literature
…………… HSIEH Hui Chen

RESEARCH PROSPECTS

1. *Shanghai bungaku: fukkokuban* and Japanese-Language Literature in Wartime China
…………… KIDA Takafumi

日本学術会議の問題をめぐる昭和文学会の対応について

昭和文学会常任幹事会は、内閣府の「日本学術会議の在り方についての方針」に対し、二度声明を発しました。この対応について説明します。

二〇二二（令和四）年二月六日に、内閣府は、「日本学術会議会員の任期も踏まえ、できるだけ早期に閣連法案の国会提出を目指す」「会員等以外による推薦などの第三者の参画」する措置を講じる等の内容を含む「日本学術会議の在り方についての方針」を発表しました。

この「方針」に対し、昭和文学会は常任幹事会名で、同年二月二〇日にホームページ上に、「学問の自由を堅持するために、内閣府の「日本学術会議の在り方についての方針」を憂慮するとともに、日本学術会議総会（二〇二二年二月八日、二一日）での議論を注視し、閣連法案の国会提出の中止を求めます。」という声明を掲載しました。

同年二月二二日には、日本学術会議が、声明「内

閣府「日本学術会議の在り方についての方針」（令和四年二月六日）について再考を求めます」を出しました。

これについても昭和文学会は、同年二月二六日に、日本近代文学会、日本社会文学会、日本文学協会とともに四学会共同の声明を出しました。ホームページにも掲載した声明文は以下のとおりです。

「二〇二二年二月二二日に日本学術会議から発表された声明「内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」（令和四年二月六日）について再考を求めます」に賛同する。／日本近代文学会理事会／昭和文学会常任幹事会／日本社会文学会理事会／日本文学協会運営委員会」

政府は、二〇二三年四月二〇日、日本学術会議法改正案の国会への提出を見送ることを決めました。

昭和文学会常任幹事会

Ⅱ 編集後記Ⅱ

第八十七集の特集「身体を再考する―規範化し、攪乱する文学」は、投稿論文も含めて九本の掲載という、たいへん充実したものになりました。本特集では、身体の物質性と表象の関係が問われています。身体性はどのように認識され、どのように制度化され、どのように歴史化されてきたのか。また文学表現は、それらの構成にどのように関与し、それをどのように問題化し、またどのように分析してきたのか。「身体」は継続的に分析対象とされてきましたが、本号の特集の中からキーワードの一部を拾い出してみれば、動物化、墮胎、死体、家畜化、クイア、戦争、劇場空間、劇場化、ジェンダー、セクシュアリティなど、身体の物質性が様々な新しい視点から検討されています。ご寄稿くださった執筆者のみなさまに、深くお礼を申し上げます。

第八十八集の特集は「音」と文学」です。学会外からサウンド・スタディーズの研究者にもご参加いただいて、座談会を企画しています。楽しみにしていただけだと思います。今号の投稿論文については、特集・自由論文合わせて二十六本のご投稿があり、そのうち、六本を採択することができました。採択率は二

三%となりました。

最後に、本誌のバックナンバーの電子化事業について、ご報告いたします。前号にて、第一集〜第五十五集までの公開に向けて、作業を進めていることをお知らせいたしました。これで、それが完了いたしました。これで、創刊集から、直近集の一集前にあたる第八十五集までを、「J-STAGE」にて公開することができました。今回の作業で、目次もアップロードいたしました。記事名のみですと、特集名を示すことができませんが、目次からそれらの情報を得ていただけだと思います。「昭和文学研究」のこれまでの歩みを把握していただきやすくなったと思います。これにて、数期にわたって引き継いできたデジタル公開事業が、遂に完了しました。ご協力くださった、すべてのみなさまに、心より感謝申し上げます。昨今、生成AIにどのように向き合うかということが、研究や教育の現場でも具体的に問題になっていきます。デジタル・ツールの多様性や精度は、驚くべきスピードで進化していますので、研究論文を掲載する学会誌も、今後それらへの対応が必要になるかもしれません。みなさまのお知恵を拝借して参りたいと思います。（飯田祐子）

第八十七集編集委員

荒井真理亜	小嶋 洋輔
飯田 祐子	竹田 志保
泉谷 瞬	田中 裕也
和泉 司	谷口 絹枝
生方 智子	戸塚 学
大島 丈志	西村 将洋
大原 祐治	日高 佳紀
尾崎名津子	広瀬 正浩
押野 武志	村上 陽子
倉田 容子	山田 夏樹

昭和文学研究 第87集

令和五（二〇二三）年九月一日発行

編集 昭和文学会編集委員会

発行 昭和文学会

代表幹事 佐藤 秀明

Tel 〇三―五九七六―一四七八

http://www.swbg.org/

振替 〇〇二〇一七―二〇四五二

発 売 笠 間 書 院

〒101-0064千代田区神田猿樂町

二―二―一三 NSビル内

Tel 〇三―三三九五―一三三一

Fax 〇三―三三九四―〇九九六

2. Please Be Comfortable and Analyze Literature Wherever You Want:
The Digitization of Manuscripts in The National Institute of Japanese
Literature TADA Kurahito
3. Research on Sakaguchi Ango Post-Sakaguchi Ango daijiten YAMAJI Atsushi
4. Intersections of Film and Literature: *Engekiban gon* as Adaptation
..... TOMODA Yoshiyuki
5. Towards the Future of Modern and Contemporary Literary Research:
Writing a Bachelor's or Master's Thesis on Miyazawa Kenji
..... NOBUTOKI Tetsuro

BOOK CRITIQUES

1. Hu Yidie, *Akutagawa bungaku ni okeru teikokushugihihan no saikento: sono shiso no tenkai to tokucho o megutte (Re-examining Critiques of Imperialism within Akutagawa's Literature: On Developments and Characteristics in His Thought)* KOTANI Eisuke
2. Sato Mioko, *Tanizaki Junichiro to eiga no sonzairon (Tanizaki Junichiro and the Ontology of Film)* GOMIBUCHI Noritsugu
3. Ohara Yuji, *Gesakusha no meimyaku: Sakaguchi Ango no bungaku seishin (A Gesaku Life: Sakaguchi Ango's Literary Ethos)* HARA Takashi
4. Wada Atsuhiko (ed.), *Shokugyo sakka no seikatsu to shuppan kankyo: nikki shiryō kara kenkyū hoho o hiraku (The Life and Publishing Context of a Professional Writer: Drawing Research Methods from Diaries)* TAKAHASHI Koji
5. Yanai Hiroo, *Seikaku hasansha no keifu: Hirotzu Kazuo ron (A Genealogy of Character Bankruptcy: Hirotzu Kazuo)* NAKAYAMA Hiroaki
6. Fujita Yu, *Shosetsu no sengo: Mishima Yukio ron (The Novel's Postwar: Mishima Yukio)* KUBOTA Yuko
7. Tonomura Akira, *Saisei bungaku: onna hito no keisho (Muro Saisei's Literature: The Figure of the Woman)* SUDA Hisami
8. Watanabe Eri, *Nakagami Kenji ron (Nakagami Kenji)* HAYAKAWA Yoshie
9. Suzuki Takane, "Sarariman" no bunkashi: arui wa "kōzoku" to "antei" no kingendaishi (A Cultural History of the "Salaryman": Or, A Modern and Contemporary History of "Family" and "Stability") MATSUSHITA Hiroyuki
10. Takahashi Kohei, Kubo Akihiro, Hidaka Yoshiki (eds.), *Shosetsu no fikushonariti: riron de yominausu Nihon no bungaku (Fictionality and the Novel: A New Theoretical Approach to Modern Japanese Literature)* YAMAMOTO Ryosuke
11. Okamura Tamio, Akasaka Norio (eds.), *Ihatobu fukeigaku: Miyazawa Kenji no "basho" (A Study of the Ihatobu Landscape: The "Place" of Miyazawa Kenji)* NAKAMURA Shingo
12. Fukasawa Harumi, *Kawabata Yasunari shinshiryō ni yoru tankyū (Kawabata Yasunari: A Study Using Newly Discovered Material)* HORIUCHI Miyako
13. Iwakawa Arisa, *Monogatari to torauma: kuia feminizumu hihyo no kanosei (Narrative and Trauma: The Possibility of Queer Feminist Critiques)* FUJIKI Naomi
14. Iida Yuko, Nakaya Izumi, Sasao Kayo (eds.) *Puroretaria bungaku to jenda: kaikyū, naratibu, intasekushonariti (Proletarian Literature and Gender: Class, Narrative, Intersectionality)* SAKAKIBARA Richi
15. Ishikawa Takumi, *Reize dorama no yomikata: Kubota Mantaro no serifu, togaki, ma (Reading Lesedrama: Kubota Mantaro's Scripts, Stage Directions, Intervals)* AKAI Kimi
16. Takeuchi Kayo, *Kuia suru gendai Nihon bungaku: kea, dobutsu, katari (Queering Contemporary Japanese Literature: Care, Animals, Narration)* KANAI Keiko
17. Kuriyama Yusuke, "Ikari" no bungakuka: kingendai Nihon bungaku kara "Okinawa" o kangaeru (The Literarization of "Anger": Thinking "Okinawa" from Modern and Contemporary Japanese Literature) ONISHI Yasumitsu